



みんなで育てる 未来のチカラ



名古屋市教育委員会
生涯学習課
令和8年1月7日

令和7年12月5日 「みんなで育てる 未来のチカラ」を開催！

学校関係者、PTA会員、区政協力委員、大学生、行政など多様な方と学び合いました

なごやコミュニティ・スクール会議について

なごやコミュニティ・スクール（NCS）会議の学校評議員制との違いやその意義、年間の進め方、来年度の重点などについて説明がありました。

教職員課 佐藤管理主事



事例紹介

地域の企業の代表取締役としてNCS会議に参加され、学校の困りごとを知ったことで、ものづくり作家、地域の大学など多様な方々をコーディネートし、木製ゲームづくりの出前授業を実施した事例と取り組みの中で感じられたことをご紹介します。

「『お互いを知る』『お互いに知ろうとすること』がコミュニティ・スクールの入り口として大切ではないか」「学校・企業・教育委員会に、互いに知り合えるような仕組みがあると良いのではないか」というご示唆もいただきました。



ご紹介いただいた実践の様子はコチラ→

天子田小学校NCS構成員
MACHIKOYA 守山大森代表
加藤隆介 様



学校と地域・家庭の連携のあり方について

コミュニティ・スクールについて講演やグループワークをしていただきました。瀬戸市の事例では、導入前に、課題点がみつかった活動も、コミュニティ・スクールで話し合いながら継続していることや、これらの活動が、子どもたちの自己肯定感や学習意欲の向上などの成果として表れていることなどをご紹介します。

グループワークでは、「子どもたちにとって魅力的な学校とは」「そのために何ができるか」などを参加者でブレインストーミングし、とても多くの意見が出されました。

全体を通して、「共通のビジョンをもつことが大切」「子どもたちに関わっている大人が手を取り合っている姿をみせることが大切」「膝を突き合わせてどうしたいのか話せる場が必要」「大人だけで進めず、子どもの声をきくといい」「何とかするのではなく、何とかできるので、あきらめず進めるといい」などが多岐にわたってヒントとなるお話をいただきました。

文部科学省CSマイスター
瀬戸市教育委員会CS統括コーディネーター
船坂礼子 様



参加者の感想

アンケート結果 大変良かった 76% 良かった 19% 少し不満 5%

- ・ 色々な関係者の方々と壁なく話す機会はないので、とても貴重な体験になりました。
- ・ もう少しグループワークの時間とグループの発表時間があってもよかったかも。
- ・ とても前向きになれる、素晴らしい研修会でした。
- ・ NCSは始まったばかりで、手探り状態ですが今後の参考にしていきたいと思います。
- ・ 学校だけ、地域だけで頑張るのではなく、お互いが協力して寄り添いながら地域や学校の問題を共に考え解決していくことが大事だと学ぶことができました。

当日の様子

NCSの説明



加藤様による事例紹介



グループワーク



グループワークで貼られた多くの付箋！



付箋に記載された一部を紹介します

【子どもたちにとって魅力的な学校とは？】

授業が面白い、安心、気にかけてくれる人が多い、給食がおいしい！、あいさつが多い、先生といっぱい話せる、ワクワクする、生き物がいる、きれい、元気に遊べる

【わたしたちに何ができる？】

子どもの声をきく、コミュニケーションをとる、笑顔！、鍋を囲みたい、話し合う、掃除などを手伝う、まずは教職員で知り話す場を設ける、それぞれの悩みをただただきく

「社会教育士」について

アンケートでは、コミュニティ・スクールへのご意見とともに、「社会教育士」への関心の声を複数いただきました。「社会教育士」は、学びを通じて人づくり、つながりづくり、地域づくりを支援する専門人材です。行政、NPO、企業、地域などさまざまな分野で活躍しています。社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、「ファシリテーション能力」「プレゼンテーション能力」「コーディネート能力」の習得をねらいとした講習を修了することで名乗ることができます。

関心のある方は、生涯学習課までお問い合わせください。



社会教育士



詳細は
コチラ→